

第7回さくらまつり開催



4月7日(日)第7回さくらまつりを旧宇仁幼稚園の園庭周辺で開催しました。今年はさくらの開花が早いという予測でしたが、3月下旬の冷え込みの影響で開花が遅れ、数年ぶりにさくらが満開の中での開催となりました。

宇仁の里ふるさと太鼓による和太鼓演奏でオープンし、稲木会長の挨拶の後、ご来賓の西村市長と大豊県議会議員にご挨拶いただき、イベント説明とラジオ体操へと進みました。ラジオ体操の音楽が流れないというハプニングがありましたが、兵教大学生のアカペラ発声による体操を笑いながらも楽しく行いました。

10時から宇仁郷歴史資料館の前で吉田省三記念文庫のオープン式典がありました。吉田館長による詳しい経緯説明のあと、ご来賓の方々によるテープカットと宇仁っ子ふるさとガイド隊他による記念文庫銘板の除幕式がありました。式典のあと宇仁っ子ふるさとガイド隊(宇仁小新5年生)が八王子神社と里山のふるさとガイドを、はにかみながらも丁寧に行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。兵教大学生たちが里山周辺で宝探しゲームをして子ども達と楽しく遊んだことも好評でした。

当日は絶好の花見日和となり、用意されたカレーライス、おでん、フランクフルト、飲み物など、参加者それぞれが好みのものを求め、仲間とそしてご近所の人と語り、世代間交流の場・いこいの場として活用し、有意義な楽しい一日を過ごすことが出来たのではないのでしょうか。

学生さんからのコメントを紹介します。

*子ども達が一生懸命、楽しそうにお宝を探す姿を見ることができ嬉しかったです。今年も沢山の子ども達と触れ合うことができ、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。お天気にも恵まれ、さくらの花も満開!! 本当に素敵なさくらまつりでした。ありがとうございました。(柴垣千尋)

*さくらまつりでは「宝探し」を企画・運営させていただきました。八王子神社一帯を夢中で駆け回る子ども達の様子を見ることができ、とてもやりがいを感じさせていただきました。このご縁が永く続くことを祈念しております。ありがとうございました。(宮本悠平)

(宇仁の里花畑街道部会)

観光まちづくり活動交流会(まち活)に参加して

4月14日(日)アスティアがさい3階の多目的ホールにおいて観光まちづくり活動交流会(まち活)が開催されました。6回目を迎え、他団体の観光まちづくりに向けた取り組みを聞いても、新鮮さを感じない、参考にならないと思っていましたが、阪南大学国際観光学部吉兼教授の講評を聞いて、はっと気づきました。

右の図はルビンの壺です。何の変哲もなく面白くありませんが見方を変えれば2つの顔が見えてきます。私たちはいつも壺だけを見ています。例えば宇仁郷の見慣れた田園風景は何の面白さも感じませんが、都会から観光にやってきた人はスバラシイと感じるかも知れません。



観光まちづくりに向けた取り組みの大きなヒントを得たような気持ちになりました。

(まち活参加者)

旧宇仁幼稚園の清掃活動をしました



3月25日早朝から10人のボランティアの皆さんのご協力を得て、子育て拠点でもあり、春は「さくらまつり」の会場となっている旧幼稚園の清掃活動をしました。溝にたまった木々の葉っぱや草は軽トラックいっぱいになり、美しくなった園庭を見て学童の子ども達はもちろん、花壇の花たちも喜んでくれることでしょう。

(子育て支援センター)

吉田省三記念文庫は6月16日(日)から開館します!!

さて、かねてより宇仁郷歴史資料館では吉田省三記念文庫の開設準備をしてきましたが、平成31年4月7日のさくらまつりの当日、多くの来賓をお迎えしてオープン式典を行いました。その後、書籍貸し出しを行う準備を進めており、書籍の閲覧ができるようになるまであとしばらく時間が必要です。6,200冊余りの書籍は全てバーコードで管理を行い、来館記録・書籍貸し出しについてもバーコードで管理を行います。

そこで、6月からの貸し出しに備えて「宇仁郷歴史資料館カード」発行(会員登録)の受付を行います。資料館入口の靴入れの右上隅に申込書を準備していますので、氏名・住所・電話番号・生年を西暦で記入の上、資料館のポストに投函してください。発行したカードは6月16日(日)の貸し出し開始日以降の開館日に受け取りに来てください。

開館は年末年始を除く日曜日9時30分から午前中です。なお、カード発行は無料です。できるだけ多くの方の入会をお願いします。

(宇仁郷歴史資料館)



カード見本

宇仁郷歴史資料館だより ④-14 近・現在の宇仁郷

(17) 大正の宇仁小統合問題-1

明治22年(1889)の町村制施行の際、富家荘(日吉)と宇仁郷(宇仁)を単独で村にするかどうか意見が分かれましたが、日吉・宇仁双方とも単独で一村の規模に適合しないと県は判断し多加野村が誕生しました。

江戸時代から地域に根ざした寺子屋・私塾は離合集散を繰り返し、明治25年(1892)多加野村立日吉・宇仁尋常小学校の2校に落ち着きました。

この間、国正の内山隆保翁の教育者としての献身的な郷土愛で宇仁郷の子どもたちは育まれてきました。明治24年(1891)の文部省令「学級編成等に関する規則」で尋常小学校は一学級70人以下と定められ、各地で統合の動きが出てきました。

大正13年(1924)多加野村大西慶治村長は日吉・宇仁尋常小学校の統合案(馬渡谷町付近)を区長・村会議員会に提案しましたがまとまらず各集落民会に委ねられました。そもそも多加野村に2つの小学校が設けられたのは村の地勢が東西6.3km、南北4.2kmの横T字型で、特に宇仁郷は幅200~300mの細い谷が4km続く地形のため単独設置の必然性があり、宇仁郷の人々はこの統合案を疑問視する声が強かったのです。



馬渡谷の二つ池畔付近

開館日 6月16日より毎日曜日(年末年始を除く) 9時30分~12時